

# Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局本部

## 目 次

〈理事会報告 (2014 年 11 月 1 日)〉

- I. 新体制の承認
- II. 第 25 回大会 (関西大学) 収支決算報告
- III. 第 26 回大会 (昭和女子大学) について
- IV. 各種委員会報告
- V. 事務局報告

〈研究・広報委員会からのお知らせ〉

〈事務局からのお知らせ〉

---

## 理事会報告 (2014 年 11 月 1 日)

---

定例理事会が 11 月 1 日 (土) 14 時 30 分から 16 時 30 分まで、お茶の水女子大学共通講義棟 1 号館 203 教室にて開催されました。新体制になって初めての理事会です。理事 20 名に加えて、次回大会開催校 (昭和女子大学) より押谷由夫会員、緩利誠会員が参加しました。なお、前回大会開催校 (関西大学) からの報告は、安藤輝次理事によって行われました。

### I. 新体制の承認

#### 1. 推薦理事の選任、事務局体制・各種委員会体制・研究奨励賞審査委員会の承認、顧問・常任理事の選任について

長尾代表理事より、6 名 (5 名 + 1 団体) の推薦理事の選任、事務局体制・各種委員会体制の承認、顧問・常任理事の選任について議案が提出され、いずれも承認された。なお、研究・広報委員会については、今回から、研究委員会と広報委員会が統合され一つの委員会になったため、副委員長として村川理事に加え西岡理事を選任することが確認された。

以上の結果、新体制は以下ようになった。

---

**推薦理事** \*会則第 4 章第 11 条：推薦による者 若干名

大野栄三 (北海道大学)、安藤輝次 (関西大学)、田村知子 (岐阜大学)、  
藤川聡 (北海道教育大学)、石田有記 (市川市教育委員会)、

香川大附属教育学部附属高松小学校

**事務局体制** \*会則第4章第11条：幹事 若干名（うち事務局長1名）

事務局長・幹事 松下佳代（京都大学）

幹事 田村知子（岐阜大学）、富士原紀絵（お茶の水女子大学）

#### **紀要編集委員会**

委員長 橋本美保（東京学芸大学）、

副委員長 根津朋実（筑波大学）、

委員 安藤輝次（関西大学）、池野範男（広島大学）、倉本哲男（愛知教育大学）、

近藤孝弘（早稲田大学）

#### **国際交流委員会**

委員長 的場正美（東海学園大学）

副委員長 澤田稔（上智大学）

委員 片上宗二（安田女子大学）、子安潤（愛知教育大学）、佐藤学（学習院大学）、

中野和光（美作大学）

#### **研究・広報委員会**

委員長 天笠茂（千葉大学）

副委員長 村川雅弘（鳴門教育大学）、西岡加名恵（京都大学）

委員 浅沼茂（東京学芸大学）、大野栄三（北海道大学）、小泉祥一（東北大学）、

藤川聡（北海道教育大学）、石田有記（市川市教育委員会）、

香川大学附属高松小学校

#### **研究奨励賞審査委員会**

\*カリキュラム学会研究奨励賞規定：当該年の紀要編集委員会を含む10名以内で構成する  
（○が紀要編集委員）

委員長 ○橋本美保

副委員長 ○根津朋実

委員 ○安藤輝次、○池野範男、○倉本哲男、○近藤孝弘、天笠茂、村川雅弘、  
西岡加名恵

#### **顧問、常任理事**

顧問 安彦忠彦、田中統治、水原克敏

常任理事 長尾彰夫（代表理事）、橋本美保（紀要編集委員長）、根津朋実（紀要編集副委員長）、的場正美（国際交流委員長）、澤田稔（国際交流副委員長）、天笠茂（研究・広報委員長）、村川雅弘（研究・広報副委員長）、西岡加名恵（同左）

---

## **2. その他**

長尾代表理事より、今後、各種委員会と常任理事会に関する規程を整備することについて提案された。また、学会発足30周年に向けての事業について、委員会を発足して検討する方向性で進みたいという意向が示され、常任理事会にて検討の上、次回理事会（3月）にて提案する方向で進めることが確認された。

## Ⅱ. 第 25 回大会（関西大学）収支決算報告

### 1. 大会収支決算報告

大会実行委員長の安藤理事より、資料に基づき収支決算報告が行われた。資料について、三か所の修正を求める意見が出され、大会校より一部修正の上、再提出していただくこととした（以下に、修正済みの収支決算報告書を掲載）。

#### 第 25 回大会（関西大学） 収支決算報告書

##### (1) 収入

科 目	金 額	内 訳	備 考
学会補助金	650,000		日本カリキュラム学会
大学補助金	329,500	210,000+ (500×239 人)	関西大学
プログラム広告収入	115,000	東京書籍 25,000 風間書房 15,000 教育調査研究所 15,000 新学社 15,000 図書文化社 15,000 日本標準 15,000 黎明書房 15,000	
参加費	881,500	一般会員：4,000×153 人 学生会員：3,000×21 人 臨時会員：3,500×59 人	612,000 63,000 206,500
懇親会費	204,000	3,000×68 人	
雑収入	2,500	学生会員：2,500×1 人	発表要旨集録販売
計	2,182,500		

(単位：円)

##### (2) 支出

科 目	金 額	内 訳	備 考
会場費	124,180	新阪急ホテル：22,680 (6/27) 千里ホールA：101,500 (6/28)	理事会 シンポジウム会場
印刷製本費	319,680	封筒印刷：26,460 大会プログラム：56,700 発表要旨集録：155,520 コットンバッグ：81,000	遊文舎
懇親会費	400,000	3,000×68 名	なお、不足分は学会補助金より
シンポジウム講師招聘費用	65,000	交通費+宿泊費=65,000 山本輝昭様	
通信費	126,422	大会案内等郵送料	
消耗品費	83,172		文房具等
会議費	55,900	5/7、6/27、6/29	
事務局員費	883,670	アルバイト学生	時給：大学院生 1,200 円、学部生 1,000 円

運営諸費	123,076		
雑費	1,400	両替手数料、振込手数料	
計	2,182,500		

(単位：円)

### (3) 収支

項目	金額
収入の部	2,182,500
支出の部	2,182,500
収支差額	0

(単位：円)

日本カリキュラム学会第 25 回大会実行委員会会計担当 若槻健

## 2. 『教育学研究』大会報告案の確認

大会実行委員長の安藤理事より、日本教育学会『教育学研究』掲載用の大会報告案が示され、四か所の修正の上掲載することが承認された（以下に、修正ずみの大会報告を掲載）。

### 日本カリキュラム学会第 25 回大会報告

日本カリキュラム学会第 25 回大会は、6 月 28 日から 29 日にわたって関西大学文学部で開催された。会員等の参加者は、北海道から沖縄まで 233 名、自由研究発表は、28 日、29 日に行われ、19 の分科会で 59 の発表があり、盛況な大会となった。

課題研究について今回の大会では、教育再生実行会議による矢継ぎ早の教育改革方針の発表の中で中央教育審議会を軸に教育課程の策定・実施にも見直さざるを得ないという状況を受けて、従来は教育政策の立場からカリキュラムの在り方を追究してきた課題研究 I と行政・経営面からアプローチをしてきた課題研究 II を合同課題研究 I&II として一つにまとめ、安彦忠彦（神奈川大学）・澤田稔（上智大学）をコーディネーターに、天笠茂（千葉大学）、前川喜平（文部科学省初等中等教育局長）、広田照幸（日本大学）、長尾彰夫（元大阪教育大学・現プール学院大学）を発表者として、教育課程政策をめぐる政治・行政・経営上の課題を明らかにし、今後の方向性について熱のこもった議論を展開した。

また、課題研究 III は、「パフォーマンス評価の理論的根拠と実践的可能性」と題して、佐藤真（関西学院大学）と西岡加名恵（京都大学）をコーディネーターに、鋒山泰弘（追手門学院大学）、田中容子（京都府立園部高校）、黒上晴夫（関西大学）が発表を行い、目標・規準及び基準、指導、学校としての体制などに絡めた理論的実践的な論議を重ねた。そして、課題研究 IV は、文部科学省「道德教育の充実に関する懇談会」の報告書を契機に「特別の教科 道德」（仮称）が提言されていることを受けて、磯田文雄（元文部科学省）、近藤孝弘（早稲田大学）のコーディネーターにより、「諸外国における道德教育の動向」をテーマに趙卿我（京都大学）、濱谷佳奈（大阪樟蔭女子大学）、園山大祐（大阪大学）、浅沼茂（東京学芸大学）が発表者として登壇し、諸外国の動向を踏まえて、わが国における道德教育の在り方を検討した。

公開シンポジウムは、自治体による全国学力テストの学校別成績公表が可能になったことに伴って、「カリキュラム研究の課題—子どもの「資質・能力」をどのように育成するのか—」と題して、学力

テストの公表や学力向上の手立てについて地域に根付く実践を行っている山本輝昭（大分県豊後高田市立戴星学園）、学力を下支えしている「効果ある学校」の研究に長年関わってきた葛上秀文（鳴門教育大学）、これからの時代の学力育成に不可欠なパフォーマンス的な学びと評価を推進している西岡加名恵（京都大学）から発表があり、フロアーからも活発な意見や感想が述べられ、この問題についての幅広い意見交流と議論を深めた。（安藤輝次）

### Ⅲ. 第 26 回大会（昭和女子大学）について

---

第 26 回大会（昭和女子大学）について、大会実行委員長の押谷由夫会員より、開催日程・プログラム・公開シンポジウム（テーマは道徳の教科化の予定）・会場についての原案が提示され、意見交換を行った。内容については引き続き検討を続け、3月の理事会で詳細を決定する。

### Ⅳ. 各種委員会報告

---

#### 1. 紀要編集委員会（橋本委員長）

##### （1）第 24 号の内容について

14本の投稿論文が受理され、現在査読中であることが報告された。また、その他の記事については、理事に対し「図書紹介」の図書の推薦、安藤理事に対し「第 25 回大会報告」、国際交流委員会に対し「海外カリキュラム研究情報」、事務局に対し「学会彙報」の依頼があった。なお、シンポジウム・課題研究の「特集」については、別途検討することが確認された。

##### （2）査読について

査読の基準・観点の明確化については前紀要編集委員会からの課題であるが、第 25 号に向けて引き続き検討することが確認された。また、査読者に対して修正後の論文をフィードバックするか、および、主査の役割をどう定めるかについて、意見交換がなされた。現時点では、紀要編集委員が務める主査が責任をもって査読結果を取りまとめることが確認された。

##### （3）投稿倫理規程について

投稿倫理規程の整備について検討課題とするよう要望があった。

#### 2. 研究・広報委員会（天笠委員長）

新体制と今期 3 年間の活動計画、第 26 回大会に向けての取り組みについて報告が行われた。

村川副委員長より、シンポジウムについては 2015 年 11 月に開催することが提案され、承認された。小泉委員より、研究集会（3 月開催）については検討課題とすることが提案され承認された。天笠委員長より、第 26 回大会の課題研究の分科会構成について検討を進め、3月の理事会で議論することが提案され、承認された。

#### 3. 国際交流委員会（澤田副委員長）

「海外カリキュラム研究情報」について 2014 年度は掲載しないこと、2015 年度については検討することが報告された。また、次期大会の課題研究の内容については、シンポジウムのテーマ

(道徳) との関連をふまえて検討することが報告された。なお、各理事に対し、国際交流についての情報があれば国際交流委員会に連絡をするよう依頼があった。

#### 4. 研究奨励賞審査委員会 (橋本委員長)

「学会研究奨励賞」の候補を全理事から 2 点以内で推薦するよう依頼があった。対象は、2013 年 11 月～2014 年 10 月の間に公刊された本学会紀要掲載論文等、カリキュラム研究に関する著書・論文である。

### V. 事務局報告

---

#### 1. 会員現況報告

(1) 会員現況概要 (2014 年 10 月 27 日時点)

会員総数 702 名 (一般会員 610 名、学生会員 84 名、団体会員 8 件)

※連絡先不明者 3 名、会員一時資格停止者 36 名を含む。

(2) 新規入会者 (2014 年 6 月 26 日～2014 年 10 月 27 日)

	入会年月日	氏名	所属	区分	推薦者
1	2014/6/25	宮下 治	愛知教育大学 大学院教育実践研究科	一般	倉本 哲男
2	2014/7/14	内山 仁	福岡国際大学	一般	事務局
3	2014/8/7	比嘉 俊	宜野湾中学校	一般	事務局
4	2014/8/21	小野 智史	香川大学教育学部附属高松中学校	一般	日詰 裕雄
5	2014/9/11	小川 育子	香川大学	一般	根津 朋実
6	2014/9/22	黒田 拓志	香川大学教育学部附属高松小学校	一般	根津 朋実
7	2014/10/21	菅尾 英代	(所属先非公開)	学生	池野 範男

(3) 退会者 (2014 年 6 月 26 日～2014 年 10 月 27 日)

	退会年月日	氏名	所属	区分
1	2014/7/8	福島 一章	東京大学大学院 教育学研究科	学生

#### 2. 会費納入状況

2014 年度 : 74.0% (完納 493 名、未納 173 名)

※連絡先不明者 3 名含む、会員一時資格停止者 36 名除く。

---

---

## 研究・広報委員会からのお知らせ—第6回研究集会（一次案内）—

---

---

下記の通り、第6回研究集会を開催いたします。ふるってご参加ください。なお、本集会は会員外にも公開しています。ご関心のある方々にもお声がけをお願い致します。

日時：2015年3月28日（土） 13：30－16：30

場所：京都光華女子大学 聞光館（もんこうかん）1階 会議室  
（〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38 京都光華女子大学）

問い合わせ先：東北大学大学院教育学研究科 小泉研究室  
電話：022-795-6127（直通、ファックス兼用）  
E-mail：koizumi@sed.tohoku.ac.jp（研究室）

参加費：無料

発表内容：

■木村裕先生（滋賀県立大学・准教授）

「オーストラリアのグローバル教育の理論と実践」

オーストラリアのグローバル教育とナショナル・カリキュラムについて、ご報告をお願いしています。

■長者美里先生（京都光華中学校・高等学校・校長、元京都市立京都御池中学校・校長）

「高等学校普通科における特別支援教育のプログラムとその条件整備

—京都光華高等学校の場合—

普通科の高等学校における生徒の「困り」を支援するソーシャルスキル形成のプログラム、とりわけ対話型授業とそのための学校内の条件づくりと環境づくりについて、ご報告をお願いしています。

長者先生は、以前、京都御池中学校長として小中一貫コミュニティスクール、新教科「読解科」開発の取り組みを行っておられます。

---

---

## 事務局からのお知らせ

---

---

### 1. 寄贈図書一覧 (2014年8月31日～2015年1月5日到着分)

著者名	タイトル	出版社等	発行年	受領日
吉富芳正・田村学	生活科の形成過程に関する研究 —新教科誕生の軌跡—	東洋館出版社	2014/6/10	2014/9/16
戸野塚厚子	スウェーデンの義務教育における「共生」のカリキュラム	明石書店	2014/7/10	2014/9/26
藤川信夫(編著)	教育／福祉という舞台 —動的ドラマツルギーの試み—	大阪大学出版会	2014/9/30	2014/10/7
上野正道・北田佳子・ 申智媛・齋藤英介(編著)	東アジアの未来をひらく学校改革 —展望と挑戦—	北大路書房	2014/10/20	2014/10/14
山本敏郎・藤井啓之・高 橋英児・福田敦志	新しい時代の生活指導	有斐閣	2014/11/30	2014/12/18

### 2. 平成26年度(2014年度)分 会費納入のお願い

今年度分の年会費が未納の方は、納入をお願いします。10月27日時点での**2014年度会費の納入率は74.0%**です。納入促進に会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ご遠慮なく(株)国際文献社内・日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。

(年会費：一般 8,000円、学生 5,000円、団体 10,000円)

**【 入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報発送等各種問い合わせ先 】**

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内

日本カリキュラム学会会員窓口

Tel : 03-5389-6213 Fax : 03-3368-2822

E-mail : [jscs-post@bunken.co.jp](mailto:jscs-post@bunken.co.jp)

**【 上記以外の学会運営に関する問い合わせ先 】**

〒606-8501

京都市左京区吉田二本松町

京都大学高等教育研究開発推進センター 松下佳代気付

日本カリキュラム学会事務局本部

E-mail : [jscs@nifty.com](mailto:jscs@nifty.com)

**【 学会ホームページ 】**

URL : <http://jscs.b.la9.jp/>